

平成9年度 法定伝染病関係検査結果

微生物課 臨床検査係

平成9年度は1,798件の法定伝染病関係の検査を実施した。検査は検体搬入時に原因菌が特定されている事例はその菌種を対象とし、疑似や海外旅行帰国および来日外国人の場合は食中毒菌を含む各種腸管系病原菌の検索を行った。

実施した1,798件のうち経過者検便73件を除いた87事例1,725件の概要と検査結果を下表に示した。73事例のうち市内（住居、通勤および通学者等を含む）で真性患者が発生したのは23事例で、内訳は細菌性赤痢9事例、海外旅行者2事例、腸管出血性大腸菌9事例、真性コレラ2事例、真性チフス1事例であった。本年度は腸管出血性大腸菌 O26 : H11,VT1(+)と O157 : H7,VT1&2 (+)の集団事例が発生したため、件数や陽性者数が多く、腸管出血性大腸菌の真性患者は53名（イヌが1件陽性）にのぼった。海外渡航者は16名から病原菌を検出した。

受付日	区分	概 要	結 果
97.4.2	真性赤痢	中央区の51歳の女性が3月22日から29日までベトナムに旅行、27日発病（下痢、嘔吐、発熱）し、現地病院を受診、帰国後医療機関を受診し、4月2日 S.flexneri1b が検出された。	同行者2名中1名から EPEC (O128:H2)検出、患者家族3名（-）
4.8	腸管出血性大腸菌	4月1日の給食従事者定期検便で46歳女性から EHEC (VT2+,OUT:H21)を検出。本人は無症状。	接触者9名（-）
4.17	真性コレラ	4月6日にタイから帰国した同乗者	同乗者1名（-）
4.19	海外旅行者	中国からの不法入国者検査依頼	10名中1名から EPEC(O1:H-), 1名から EPEC(O1:H7)検出、8名（-）
4.24	真性チフス	他都市で発生したチフスの濃厚接触者検査依頼	接触者2名（-）
4.25	腸管出血性大腸菌	4月22日の勸奨検便で27歳女性から EHEC (OUT:H2, VT2+)検出。本人は無症状。	接触者39名（-）
4.26	真性赤痢	博多区の33歳の女性。4月17日から24日までインドネシア旅行で赤痢に感染。	同行者1名（-）
5.2	真性赤痢	静岡県の46歳の男性。4月10日から27日までエベレスト・カラパタル登頂トレッキングに参加、26日より腹痛、水様便2回あり、検疫所の検査で赤痢菌が検出された。	同行者1名（-）
5.3	腸管出血性大腸菌	西区の2歳の男児。4月29日下痢。30日に37.3度の発熱、軽度の腹痛で受診した。分離菌を当所で同定した結果 EHEC (VT2+,O157:H7)と決定した。	患者家族4名（-）、保育園児32名（-）、保育園職員7名（-）

5.9	真性赤痢	早良区の36歳の女性から S.sonnei 検出。海外旅行歴なし。	接触者4名 (-)
5.9	真性コレラ	鹿児島県の33歳の女性。4月26日から5月3日までラオス・タイにボランティアのため7名で渡航。	同行者1名 (-)
5.9	真性赤痢	名古屋市の31歳の男性。4月28日から5月5日までエジプト旅行。5月9日 S.sonnei 検出。	同行者4名中1名から S.sonnei 検出, 3名 (-)
5.12	真性赤痢	5月9日受付エジプトツアー (真性赤痢) 同行者から S.sonnei 検出。	職場の同僚13名 (-)
5.20	真性赤痢	広島県の女性。5月5日から12日までエーゲ海クルーズと古代エジプトの旅に参加, 13日発病, 19日診定。	同行者2名 (-)
5.23	真性赤痢	サルモネラ食中毒時に実施した調理人検便で S.flexneri (型不明) 検出。海外旅行歴なし。本人は無症状。	患者家族2名 (-)
5.23	腸管出血性大腸菌	東区の9歳男児。5月17日発病 (下痢), 18日血便 (+), 病院受診, ホスミシン投与。血便が続くため19日に入院。21日には回復。民間検査センターにて23日 O157 検出, 24日毒素産生判明。喫食状況調査によると, 13日に某店から生レバーと牛腸を入手, 患者家族4名と友人家族4名で食事, 患者家族2名と友人家族1名から同菌検出。	患者家族3名中2名から EHEC (O157:H7,VT1&2+) 検出, 1名 (-), 同一食品喫食者4名のべ7件中1名から EHEC (O157:H7,VT1&2+) 検出, 3名 (6件) (-), 某店の従業員 (-) PFGE で同一株と確認。
5.24	真性赤痢	愛知県の34歳の女性。5月3日から18日までエベレストゴキョピーク登頂トレッキングに参加。19日夜から38.2度の発熱, 水様便出現, 20日受診し, 検便。23日 S.boydii8 検出。	同行者2名 (-)
5.27	腸管出血性大腸菌	中央区の43歳の女性。5月17日頃から咳, 倦怠感, 22日右腹部痛, 下痢, 23日受診。23日夕方褐色便, 24日虫垂炎疑いで転院後入院, セファメジン投与。エコーで回盲部肥厚, 大腸ファイバーおよびイルリゴでも回盲部の肥厚。26日軽快し, 27日 O157 (VT1&2+) 検出。	患者家族6名のべ11件中1名から EHEC (O157:H7,VT1&2+) 検出, 5名 (10件) (-) PFGE で同一株と確認。
5.27	海外旅行者	佐賀県の56歳の女性。5月22日~26日バリ島旅行。26日朝腹痛, 1日2~3回の下痢。27日2回の下痢があり, 保健所に来所。	本人よりサルモネラ O8 群 (S.Hadar) 検出
5.27	真性赤痢	愛知県の22歳の女性。4月25日~5月21日インド旅行。帰国後 S.sonnei 検出。	同行者1名 (-), 接触者2名 (-)
6.2	真性赤痢	南区の28歳の女性。5月24日~31日エジプト旅行。空港検疫所で S.sonnei 検出。	同行者1名より S.sonnei 検出, 接触者1名 (-)
6.3	腸管出血性大腸菌	5月27日の勸奨検便で南区の20歳の男性。EHEC (OUT:HUT,VT1+) を検出。	本人再検でも同菌検出, 接触者17名 (-), 患者家族2名 (-), 本人服薬

			中および服薬後 (-)
6.12	真性赤痢	6月9日の勸奨検便で城南区の57歳の女性。S.flexneri2aを検出。6月2日39.4度の発熱、嘔吐。3日から水様下痢。胃腸科受診、輸液、内服治療。検便。腸管病原菌陰性。4日症状消失、6日内服治療中止。海外旅行歴なし。	患者家族2名(-)、職場関係256名(-)
6.14	腸管出血性大腸菌	19歳の女性。激しい下痢・腹痛で受診。EHEC(O157:H7,VT2+)を検出。	接触者12名(-)
6.16	腸管出血性大腸菌	6月10日の勸奨検便で西区の50歳の女性。EHEC(OUT:HUT,VT1+)を検出。	接触者3名(-)、本人治療後(-)
6.16	海外旅行者	粕屋郡の23歳の女性。6月11日～15日インド旅行。13日より軽度の腹痛軟便。帰国後37度の発熱、水様便あるため保健所に来所。	本人(-)
6.24	真性赤痢	中央区の30歳の女性。6月14日～21日エジプト旅行。18日から腹痛、水様下痢、21日空港検疫所で検便、24日S.dysenteriae6検出。	同行者9名中4名からそれぞれS.dysenteriae6, S.sonnei, ETEC(O6:H16,ST<+), EPEC(O128:H12)検出、5名(-)、接触者4名(-)
6.27	真性赤痢	6月24日受付エジプトツアーの同行者からS.sonneiを検出。	患者家族1名(-)
6.27	腸管出血性大腸菌	東区の1歳8ヶ月の女児。6月25日発熱、下痢。26日小児科受診、検便。27日民間検査センターでO157検出。当所でVT2+の毒素産生確認。	患者家族3名中1名からEHEC(O157:H7,VT2+)検出、2名(-)、接触者9名(-)
7.9	腸管出血性大腸菌	博多区の女性。EHEC(O157:H7,VT1&2+)検出。	本人服薬後(-)、患者家族3名(-)、犬1匹(-)
7.19	腸管出血性大腸菌	南区の1歳の女児。7月10日に保育園で下痢の子の便を食べ、11日より発熱、12日より10回/日の水様下痢出現、近医受診、ケフラール内服、13日より症状悪化(血便)のため14日総合病院受診。15日O26検出、19日VT1産生が判明。家族および食事や風呂をともにしている親戚一家の検便実施、家族1名と親戚の8歳と6歳の男児から同菌検出。また、初発患者が通う保育園の児童および家族38名から同菌検出。菌陽性者の職場での接触者2名からも同菌検出。初発患者が通う保育園では7月上旬より有症児(下痢及び発熱)が多くみられており、数人の園児は近医を受診するものの病原菌未検出。7月19日届け出から終息は8月8日。	患者家族1名からEHEC(O26:H11,VT1+)検出、親戚一家5名中2名からEHEC(O26,VT1+)検出、3名(6件)(-)、初発患者の家族のパート先16名中1名からEHEC検出、15名(-)、初発患者の保育園関係者397名中39名からEHEC(O26:H11,VT1+)検出。のべ437名、菌陽性者は44名にのぼった。
7.22	海外旅行者	東区の男性。バリ島に旅行、17日帰国、帰路飛行機内で水様下痢、発熱、腹痛発症。18日病院受診、症状がおさ	本人(-)

		まらないため保健所に来所。	
7.23	腸管出血性 大腸菌	東区の9歳女児。7月14日発病（腹痛，下痢，発熱）， 18日血便、病院受診。22日 EHEC(O157,VT2+)を検出。	患者家族4名（-），接触者3名（-）
7.23	海外旅行者	博多区の27歳の男性。7月17日～21日中国（上海，蘇 州，無錫，杭州）ツアーに参加。ツアーの中に下痢症状 の人あり，内1人は原因不明で死亡しているため心配に なり保健所に来所。	本人（-）
7.23	真性赤痢	岡山市の24歳の男性。7月13日～16日インドネシア旅 行。S.flexneri1b 検出。	同行者4名（-）
7.31	腸管出血性 大腸菌	南区の12歳の男性。7月11日腹痛，下痢出現。 23日から嘔吐も始まる。24日に総合病院受診， 30日 EHEC(O111,VT1+)検出。	患者家族4名中1名から EHEC (O111:H-,VT1+)検出，3名（-），接 触者27名（-），服薬中及び服薬後3 件（-），後日 PFGE で同一株と確認 された。
8.1	腸管出血性 大腸菌	粕屋郡の19歳の女性。7月29日の一般検便で O157VT2+ 検出。14日から4日間嘔吐，下痢，近医受診，抗生物質1 日分投与。検便当日は無症状。	接触者10名（-），実習先の保育園関 係46名（-），本人服薬後2件（-）
8.2	腸管出血性 大腸菌	東区の7歳女児。7月28日から37度台の発熱，下痢出 現，30日より頻回の水様下痢，腹痛のため近医受診， 8月1日 O157 検出，当所で VT1&2+確認。喫食状況（24 日に焼肉のバーベキュー）。	患者家族5名（-）
8.5	真性赤痢	西区の26歳の女性。5月11日～7月31日インド，8月3 日までタイ旅行。検疫所で S.sonnei 検出。	患者家族3名（-）
8.6	真性赤痢	7月17日～22日フィリピン，24日までパラオ旅行，27 日赤痢菌検出。同行者は現地で治療，検疫所での検便も 陰性。	同行者服薬後1名（-）
8.8	真性チフス	東区の19歳の大学生。6月3日～7月25日朝鮮民主 主義人民共和国に研修旅行。	同行者1名（-）
8.8	腸管出血性 大腸菌	中央区の24歳の男性。8月4日飲食店の衛生管理の一環 で自主検便，6日 O157 検出，7日当所で VT2+を確認。 本人は無症状。	接触者7名（-），本人治療後（-）
8.8	腸管出血性 大腸菌	東区の1歳の男児。8月4日発病（下痢，血便），受診。 7日当所で O157,VT1&2+を確認。	患者家族3名（-）
8.12	真性赤痢	直方市の男性。7月25日～8月3日中国シルクロードハ イライトツアー参加。12日 S.flexneri 検出。	同行者1名（-）

8.18	疑似コレラ	コレラ菌検出の連絡が博多保健所にあり、当所にて検査の結果、O1 血清(-), CT 遺伝子 (-) のため NAG ビブリオと同定.	接触者 6 名 (-)
8.21	腸管出血性大腸菌	東区の 12 歳女兒. 8 月 16 日発病 (水様下痢), 19 日受診, プスコパン, 整腸剤投与. 20 日当所で O157, VT2+確認. 喫食状況 (10 日に焼き肉)	患者家族 2 名 (-)
8.22	腸管出血性大腸菌	東区の 8 歳男児. 8 月 18 日発病 (下痢, 37.5 度の発熱, 腹痛), 20 日血便. 20 日の便培養で O157, VT1&2+検出.	患者家族 5 名 (-)
8.22	腸管出血性大腸菌	8 月 11 日 ~ 14 日日韓海峡沿岸青少年交流に参加. O157,VT2+検出.	接触者 5 名 (-)
8.25	真性赤痢	県外の患者. 8 月 10 日 ~ 16 日北京・内モンゴルツアー. 赤痢菌検出.	同行者 1 名 (-)
8.25	腸管出血性大腸菌	東区の 3 歳女兒. 8 月 16 日浣腸後, 下痢気味時続. 22 日腹痛, 7 ~ 8 回の下痢, 小児科受診, 検便, ホスミシン, エンテロン R を服用. 23 日血便, 24 日軽快. 25 日 O157,VT1&2+検出.	患者家族 4 名 (-)
8.26	真性コレラ	北九州市の女性. 8 月 7 日 ~ 12 日に福岡県議会日朝友好訪問団として, 朝鮮民主主義人民共和国を訪問. 14 日発病 (下痢), 18 日医療機関受診, 検便. 24 日コレラ菌 (エルトール小川型) 検出. 27 日北九州市保環研で CT 確認.	同行者 13 名中 1 名より EPEC(O1:H7) 検出, 12 名のべ 18 件 (-)
9.2	腸管出血性大腸菌	西区の 5 歳男児. 8 月 27 日発病 (下痢), 29 日夜血便及び強い腹痛, 30 日受診. 9 月 2 日 O157:H7, VT2+検出.	患者家族 4 名 (-), 保育園関係 133 名 (-), 本人治療後 2 件 (-)
9.3	真性赤痢	城南区の 19 歳の男性. 8 月 3 日 ~ 31 日フィリピンで植林, 交流事業などに参加. 29 日発熱, 水様性下痢出現, 9 月 2 日検疫所で S.sonnei 検出. また, 同行していた 22 歳の男性からも同菌検出.	同行者 3 名中 1 名からサルモネラ O8 群 (S.Hadar) と ETEC(OUT:H45,ST+) 同時に検出, 2 名 (-) 接触者 18 名 (-)
9.5	真性赤痢	8 月 23 日 ~ 30 日モンゴル大草原乗馬の旅 8 日間ツアー参加. S.sonnei 検出.	同行者 1 名より S.sonnei 検出
9.5	アメーバ赤痢	西区の 34 歳の男性. 1 ヶ月前より粘血下痢. 9 月 1 日初診. 総合病院で病理診断された.	患者家族 4 名 (-)
9.9	真性赤痢	9 月 5 日受付分のモンゴルツアーで S.sonnei を検出.	接触者 7 名 (-)
9.11	真性赤痢	東区の 19 歳の女性. 8 月 17 日 ~ 9 月 3 日中国旅行. 8 月 26 日発熱, 腹痛出現. 28 日下痢. 症状一時軽減. 9 月 4 日再び下痢, 発熱, 5 日朝近医受診, 重症のため総合病	同行者 1 名 (-), 患者家族 3 名 (-), 本人服薬後 4 件 (-)

		院に転院。10日に S.sonnei 検出。	
9.12	腸管出血性大腸菌	西区 29 歳の女性。9 月 9 日の学校検便より EHEC (O28ac:H28,VT1) 検出。	家族 3 名中 2 名から EHEC (O28ac:H28,VT1) 検出
9.14	真性赤痢	8 月 29 日～9 月 12 日マレーシア, ベトナム旅行参加者。帰国後検疫所の検便にて S.sonnei 検出。	同行者 1 名 (-), 患者家族 3 名 (-)
9.24	腸管出血性大腸菌	博多区内の 4 歳男児。9 月 19 日発病 (下痢), 20 日小児科受診, 民間検査センターへ検査依頼。24 日 O157,VT2+ 検出。	患者家族 3 名中 1 名より HHEC (O157:H7,VT2) 検出, 保育園関係者 75 名 (-)
10.2	アメーバ赤痢	城南区の 35 歳独身の男性。下痢がひどくなり, 近医受診。顕微鏡検査にて栄養型検出。	接触者 4 名 (-)
10.2	真性チフス	東区の 12 歳女児。母方の祖母が残留日本人孤児で, 夏休みの 1 ヶ月間 13 名で内モンゴルに帰国。8 月末に帰国, 9 月 15 日発病 (弛緩性の熱), 9 月 16 日受診。10 月 2 日に 9 月 26 日の便培養から S.Typhi 検出。	家族, 接触者 13 名中 1 名より S.Agona 検出
10.9	腸管出血性大腸菌	博多区の 4 歳女児。9 月 30 日朝発病 (下痢), 10 月 1 日 5 時より腹痛, 粘血便, 受診。10 月 3 日 O157: : H7,VT2+ 検出。	保育園関係 81 名 (-) 患者家族 3 名 (-)
10.15	真性赤痢	東京都内の 32 歳女性。10 月 2 日～11 日, インド・ネパールツアー (29 名) 参加。7 日より下痢があり, 帰国後の 10 月 14 日菌検出。	同行者 1 名より ETEC (LT+) O UT: HUT 検出
10.22	真性赤痢	福岡県三潁町の男性。中国ツアー参加。滞在中発病 (下痢), 現地で治療受け回復。帰国後 13 日再び下痢, 17 日受診, 検便, 22 日赤痢菌検出。	同行者 2 名 (-)
10.28	腸管出血性大腸菌	名古屋市の 32 歳女性。10 月 6～13 日エジプト旅行ツアー参加。帰国後下痢, 血便, 受診。O157VT1&2+検出。	接触者 1 名 (-)
10.30	真性赤痢	10 月 12～27 日, インドネシア旅行。同乗者に赤痢患者がいたため心配になって来所。	1 名より EPEC (O44:H18) 検出
11.6	腸管出血性大腸菌	早良区の 55 歳の男性。1 日発病 (下痢, 腹痛), 受診。O157 検出。	接触者 2 名 (-)
11.7	腸管出血性大腸菌	福岡市東区の 16 歳の女性。10 月 29 日発病 (下痢, 腹痛, 発熱), 入院。11 月 2 日血性下痢 2 回, 4 日 O26VT1+検出。	家族 3 名 (-)
11.7	腸管出血性大腸菌	福岡市西区の 17 歳の男性。10 月 31 日発病 (水様下痢) 受診。11 月 6 日民間検査センターで O157 検出。	家族 5 名 (-)

11.10	腸管出血性 大腸菌	東区の 54 歳の女性. 11 月 5 日の学校検便より O26 検出. 無症状.	家族, 接触者 3 名 (-)
11.25	疑似コレラ	城南区の男性. インド旅行中下痢. 帰国後は無症状. 心配のため保健所に来所.	(-)
11.27	パラチフス	倉敷市の 55 歳の男性. 10 月 22 日～ 26 日中国旅行参加者よりパラチフス A 検出.	同行者 1 名 (-)
11.27	腸管出血性 大腸菌	山口県の患者. 11 月 8 日～ 9 日鹿児島県内の親族宅で行われた法事に出席後, 親族と南九州を旅行. 14 日下痢, 血便, 受診. 20 日 O157VT1&2+検出.	同行した親族より O157:H7 VT1,2(+)検出
12.1	真性赤痢	福岡県福岡町の 33 歳の女性. 11 月 17 日～ 22 日インド旅行. 25 日発病 (下痢, 腹痛), 受診. 12 月 1 日 S.sonnei 検出.	職場, 接触者 84 名 (-)
12.5	アメーバ 赤痢	中央区の 26 歳男性. H9.4 月～ 8 月タイ, インド旅行. 旅行中から帰国後も下痢, 血. 11 月 25 日受診, 入院. 入院時 39℃, エコーにて肝膿瘍と腸ファイバーで潰瘍. 腸液より赤痢アメーバの栄養型検出.	家族 5 名 (-)
12.11	腸管出血性 大腸菌	東区の 16 歳の女性. 12 月 3 日家庭科の授業でハンバーグを作ったが, 時間がたりないため生焼けで食べた. 12 月 6 日発病 (腹痛), 7 日激しい血便, 嘔吐. 8 日 O157 検出.	家族 4 名 (-)
1.2	真性コレラ	熊本市の女性. 12 月 23 日～ 28 日, タイ旅行ツアーに参加.	同行者 2 名 (-)
1.30	腸管出血性 大腸菌	筑紫野市の 20 歳の男性. 1 月 5 日の一般検便で O142:HUT,VT1(+)検出. 無症状.	接触者 1 名 (-)
2.6	真性赤痢	南区の 23 歳の女性. 1 月 27 日～ 2 月 1 日添乗員としてタイに旅行, 2 月 1 日夜, 激しい下痢のため救急センターを受診. 2 月 6 日 S.sonnei 検出.	家族 3 名 (-)
2.16	真性コレラ	都城市の男性. 2 月 7 日～ 2 月 12 日タイ旅行, 下痢, 嘔吐のため福岡空港で検便. エルトール小川型検出.	接触者 1 名 (-)
3.1	真性赤痢	南区の 30 歳の男性. 2 月 15 日～ 24 日添乗員としてインド旅行. 22 日下痢, 発熱, 28 日赤痢菌検出.	同行者 2 名 (-), 接触者 15 名 (-)
3.2	腸管出血性 大腸菌	西区の 2 歳女児. 2 月 23 日発病 (水様性下痢), 25 日受診. 28 日 O157:H7,VT1 & 2 (+)検出.	家族 6 名 (-) 愛犬より O157:H7,VT1&2 (+) 接触者 2 名 (-)

3.3	真性コレラ	西区の21歳の女性。2月19日～22日タイ旅行、23日より1日7～8回水様性下痢、嘔吐。市販の下痢止め服用。27日より再度下痢、受診。エルトール小川型検出。	同行者15名中1名より ETEC O169:H41 STp(+), 1名より EPEC O1:H7 検出。接触者9名 (-)
3.3	疑似コレラ	市内の29歳の女性。市内病院よりコレラ菌の精査依頼。タイ旅行帰国後のため、同行者検便を実施。依頼株は O1 血清 (-), CT 遺伝子 (-) のため NAG ビブリオと同定。	同行者2名 (-)
3.24	真性赤痢	早良区の21歳の男性。2月12日～3月20日インド、ネパール旅行。3月13日より現地で数十回の下痢、腹痛、20日検疫所にて検便、S.sonnei 検出。	接触者2名 (-)
3.30	アメーバ赤痢	西区の66歳の女性。1週間前より腸の動きが激しくなり、3月23日粘血便、26日受診。27日腸ファイバーの腸管液より赤痢アメーバ栄養型を検出。	家族1名 (-)
3.30	真性赤痢	城南区の22歳の男性。3月9日～27日インドネパール旅行、23日現地で腹痛、下痢。27日検疫所で検便。S.sonnei 検出。	本人より S.sonnei 検出